

# 鯡の湖

平成三十一年、来年度で平成がなくなりま  
す。最後の元号を楽しく愉快に活動し、

「長浜に来てよかった！」

「長浜観光V.G.が楽しかった」

と感じていただける「おもてなしガ  
イド」を演出してください。

私達の協会は、長浜で唯一ボラン  
ティアーガイドで構成されている団  
体として、国が認めてくれた組織で  
あることに誇りをもって、愚直に、  
肅々と長浜を訪れる観光客を、心の  
こもったおもてなしでお迎えしまし  
う。

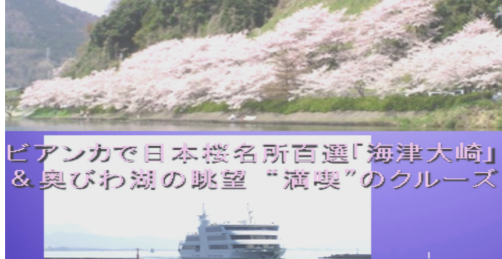
## 長浜が味わえるおもてなしを



「ようきやんした。またきやんせ」は長浜観  
光ボランティア協会のお迎えキャッチコピー  
として長浜の魅力を伝える努力をお願いしま  
す。

NPO法人  
長浜観光V.G.協会  
電話 (65) 0370  
発行責任者  
辻川 原藏  
編集責任者  
木村 富久子

### 桜クルーズにようこそ



ピアンカで日本桜名所百選「海津大崎」  
& 奥びわ湖の眺望「濱妻」のクルーズ

### ピアンカ の旅!

桜のころは一年で最  
も心が弾む季節ですが、  
いつしか過ぎてしまっ  
時期でもありません。

この時期、今年も開  
催される  
「桜クルーズ  
ピアンカの旅」

お客様の心に残る思  
い出作りや、愉快地に楽  
しい時を過ごしていた  
だくために、ピアンカ  
の旅の研鑽を積み、桜  
クルーズを楽しむ方々  
の、思い出のコーディネーターとなってくだ  
さい。

#### 【各日程と注意事項】

- ・期間：四月七日(土)～四月十九日(木)
- ・一便：一〇時五〇分発～十三時四〇分着
- ・二便：十四時二〇分発～十七時一〇分着

#### 【事前研修】

- ・日時：四月二日(月) 一〇時～  
講師：氏原顧問
- ・場所：四居家
- ・初日は乗船による会員研修を予定  
(但し人数制限が有)

### 【五十二年ぶり県内から国宝誕生】

長浜市西浅井町の須賀神社が所蔵す  
る「菅浦文書、菅浦与大浦下庄堺絵図」  
が国宝(美術工芸品)に指定されるよ  
うに答申された。県内では一九六六年  
以来五十二年ぶりの国宝指定となる。  
建造物、美術工芸品を合わせ県内の  
国宝指定としては五十六番目となる。

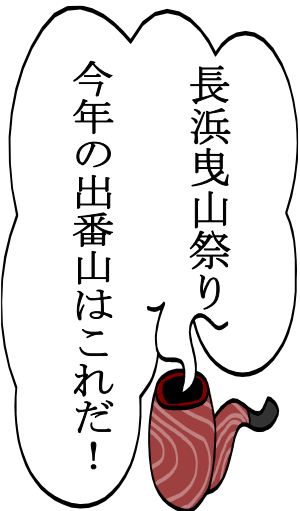
長浜の国宝は

- 一 都久夫須麻神社本殿
- 二 宝蔵寺唐門
- 三 木造十一面観音立像
- 四 金銀鍍透彫華籠
- 五 法華経序品(竹生島経)

でしたが今回指定の  
菅浦文書・菅浦与大浦下庄堺絵図  
が加わり六点となりました。

#### 《参考》五 法華経序品について

琵琶湖に浮かぶ竹生島の宝蔵寺に伝  
来したため、「竹生島経」と称される。  
もとは鳩摩羅什訳の法華経八巻がそろっ  
ていたと思われるが、現存するのは、  
巻一の中のこの「方便品」一巻と、宝  
蔵寺に残る折本仕立ての「序品」一帖  
だけである。



長浜曳山祭り  
今年の出番山はこれだ！

今年も四月九日～十六日の間に、長濱八幡宮の春の例祭に合わせて曳山祭りが執行されます。期間中の十三日～十六日の間は、出番山で「子ども歌舞伎」が演じられます。

祭りは、四月九日の線香番に始まり、十二日までの四日間若衆による勇壮な裸参りを行い祭りの成功を祈願します。

子ども歌舞伎は、十三日・十四日に自町で狂言を行います。十五日には長濱八幡宮で披露後御旅所への道中で披露されます。

五歳から十二歳くらいの男の子によって曳山の舞台で演じられる子ども歌舞伎の熱演はとても可愛らしく見事なものです。

夜には提灯を灯した四台の曳山が御旅所に勢ぞろい、その幻想的な背景の後、神輿が担ぎ出され終焉を迎えます。

【長浜曳山祭りの由来】

安土桃山時代、長浜城主だったころの豊臣秀吉に初めての男の子が生まれました。喜んだ秀吉は城下の人々に金を振る舞い、町民がこれをもとに山車を作って八幡宮の祭りに曳き回したのが始まりといわれています。

【曳山の知識】

絢爛豪華な曳山は、江戸時代中期から、長

浜のちりめん産業の隆盛に伴い各山組は競って曳山を改造し、装飾に豪華な毛織物を用いるなどの贅を尽くしました。現存する曳山の多くはその頃に作られたものです。曳山は二階の舞台と楽屋、二階の亭にわかれています。長浜の曳山は、「長刀山」を含め十三基あります。子ども歌舞伎が演じられるのは十二基で、そのうち毎年四基が交代で出番山となります。

【曳山研修】

長浜市の最大イベント曳山祭りがいよいよ始まります。私達ガイドは曳山祭りを側面から支援し、最高のお祭りなるよう今年の出番山と演題など長浜祭りの知識をしっかりと勉強してください。

研修日時 三月二十九日(金)  
午前九時三〇分から

研修場所 四居家

【今年の出番山】

今年の出番山は

「壽山」「猩々丸」「高砂山」「鳳凰山」の四音基です。

出番山での装飾類の中では、

◎ 貴婦人と三人の従者を描いた

「鳳凰山 飾毛綴」

◎ 大勢の槍を持つ武人を織だした

「翁山 飾毛綴」

が国の重要文化財に指定されており、ともに約四〇〇年前のベルギー製の織物です

以下、ガイドの参考としていただけるところに、出番山について掲載しました。



亭は八棟造りで、軒先に唐破風を付ける。舞台屋根は向大唐破風で、側面の千鳥破風の棟上に鯨を置く。舞台天井は、折上小組格天井。正面唐破風板の「孔雀に桃樹」の金具と舞台障子上の大虹梁や舞台の桁の飾金具には、七宝焼を用いている。

舞台前柱の「昇り竜・下り竜に雲と人物」と高欄親柱の飾金具は国友の金工・藍水堂一徳の作。昇り竜・下り竜は、一徳が十三年をかけた苦心の作。その下絵と楽屋襖の「竜の図」は今村の中谷求馬の筆になる。

見送り幕は、中国明時代の綴れ織りのものと毛綴れ織りのものの二枚がある。胴幕は総刺繍「竹林七賢人の図」となっている。

曳山本体は天明二年(一七八二)、藤岡和泉利盈の作。

亭は後年の作だが、作者等不明



### 猩々丸 船町組



御座船型の曳山、背面に行列に用いる七つ道具を立てる。

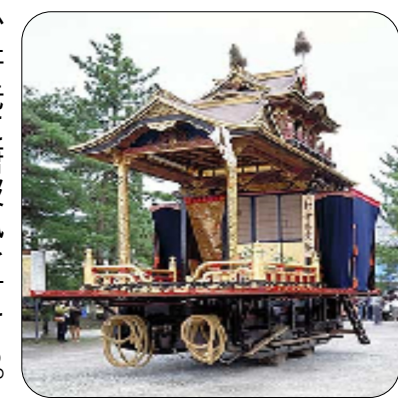
亭はなく、露台となり周囲に幕を張る。上に猩々緋の大きな帆布をあげる。舞台屋根は向大唐破風で、両面に千鳥破風と唐破風を付けて形を整えている。

背面には見送り幕に変えて見送り彫り物一對をかざる。彫り物は中国三国時代の蜀の武将・関羽と張飛の木造彩色像。

舞台障子上の大虹梁「唐獅子の谷川を渡る」の象嵌鍍金飾金具は、膳所の奥村普次の作、台輪の「波」の飾金具は、西村清琴の下絵で京都の尾勘の作、鼻金具は弘化四年（一八四七）国友の国友一貫齋充俣、富岡勘右衛門直久の作である。

曳山は安永三年（一七七四）藤岡和泉一富の作。

### 高砂山 宮町組



陳は八棟造りで、軒先に唐破風を付ける。舞台屋根は切妻造り、両側面に千鳥破風を付け、笠棟鬼板に「宮」の文字、同鳥衾に「元山」の文字を表している。

楽屋側面の外欄間には「柿樹上に群猿の遊ぶ」の木彫りがあり、構図が面白くすぐれた作品。舞台の前柱は「雲と垣根に瓢箪唐草」の透かし彫り飾り金具が全体を覆っている。

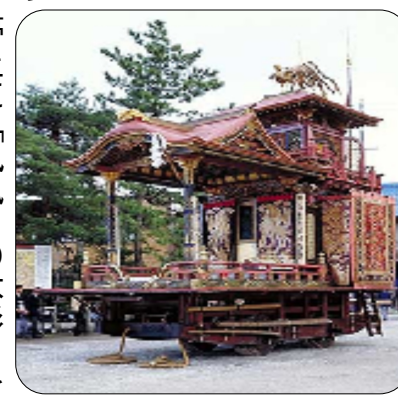
台車には半肉彫鍍金の「兎が波上を走る」の飾金具を付ける。舞台障子の「牡丹に小禽の図」は大塚岐鳳の作である。

見送り幕は、全面刺繍「九仙人の図」のもので綴れ織り「唐子遊戯の図」のものがある。

曳山本体は延亨二年（一七四五）の修理記録がある事からそれ以前の建造とされる。

亭は文化十三年（一八一六）藤岡重兵衛安則の作。

### 鳳凰山 祝町組



亭は四柱造り

で、むくり屋根。亭上に「鳳凰」の木彫りを置き、背面には加茂胡保の筆になる「其清」の額を掲げる。

舞台障子上の大虹「鶴の巢籠り」の象嵌造りの金具は、膳所の奥村普次の作。前柱の「松竹梅に琴棋書画」や高欄親柱の「鶏」などの飾金具も精巧で、奥村普次の作で、台輪の「浪に竜」の飾金具は国友の姉川堂良忠の作である。

舞台格天井は絵天井となり華麗。舞台障子の「花車の図」は大塚岐鳳の筆、その内側の楽屋襖の「楽太鼓の図」は狩野永岳の筆であり、背面の幟の「天覆」「地載」の文字は賀茂胡保の筆。胴幕はペルシャ絨毯。見送り幕は十六世紀ベルギー製の飾毛綴で重要文化財。

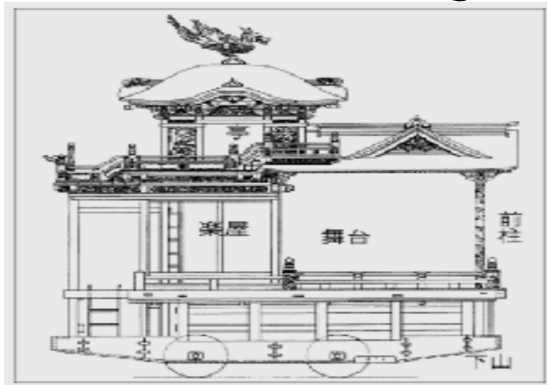
曳山本体は、亭とも文政十二年（一八二九）の作。建造は藤岡和泉の作と伝えられている。

【外題】 一谷嫩軍記  
熊谷陣屋の場

【外題】 義士外伝  
土屋主悦

【外題】 恋飛脚大和往来  
梅山忠兵衛 新口村の場

# 曳山の見分け



曳山の見分け

今年も長浜祭りが目の前にやってきました。曳山祭りシリーズ5回目は十二の曳山一基ごとに外観の特徴を見てみたいと思います。

☆ 船の形 (一基)

猩々丸 (船町組)

御座船型で猩々緋の大きな帆を上げているので間違えることはないでしょう。亭はなく、露台となり周囲に幕を張ります。

☆ 舞台屋根が「切妻屋根」 (二基)

高砂山 (宮町組)

舞台前柱は透彫の「雲と垣根」瓢箪唐草の金具で飾られています。

青海山 (北町組)

亭の棟上に木彫の「飛竜」を置き、台輪

は曳山の名に因んだ「青海波」の文様で飾られています。

☆ 亭上に飾物を置く曳山

(前記の青海山を含め七基)。

鳳凰山 (祝町組)

亭の棟上に曳山の名のとおり木製の「鳳凰」を置き、舞台の折上げ格天井は唯一「絵天井」です。

諫鼓山 (御堂前組)

亭屋根露盤上に曳山の名に因んだ木彫りの「諫鼓鶏」を置き、舞台前柱の「竹林七賢人」の飾り金具は奥村寿一の作で、長く伸びた竹とその下の人物像が見事です。

常盤山 (兵服町組)

亭上に木彫りの「・(ロジ)」を置き、舞台前柱は黒漆塗りで飾り金具はなく、舞台高欄親柱の色絵象嵌「釣り狐」の飾り金具は、三代目奥村菅司の作。

春日山 (本町組)

亭上に金色の「龍神様」を置く。高欄親柱に曳山の名に因んだ「紅葉に鹿」の金具を付け、台輪の鼻金具に本町組を示す「本」の文字をデザイン化した金具を付けます。

月宮殿 (田町組)

亭の屋根は唯一、六角形でその上に「ギヤマン製」の宝玉を置く。舞台前柱を飾る「鯉の滝登り」の飾り金具は、「狩野孝信」の下絵と言われています。

萬歳楼 (瀬田町組)

亭は上(前)下(後)の二段に分れ、上亭棟上に「宝珠」を置き、下亭屋根に「宝剑(鉞)」を置く。舞台前柱色絵象嵌「高砂の尉と姥」は奥村菅次の作と言われています。

☆ 舞台屋根上に飾り物を置く曳山 (二基)

孔雀山 (神戸町組)

舞台屋根棟上に山号に因む金銅製の尾羽を広げた「孔雀」を置く。舞台前柱は黒漆塗りで飾り金具はなく、舞台高欄の親柱は四角形(他の山は全て円柱形)で花宝珠を用いています。

壽山 (大手町組)

舞台屋根側面の千鳥破風棟上に「鯨(シヤチ)」を置く。舞台前柱の「昇り竜・降り竜に雲と人物」の飾り金具は、国友の金工・藍水堂一徳苦心の作。下絵は今村の絵師中谷求馬の筆。

☆ 舞台前柱の飾りが連続文様

翁山 (伊部町組)

舞台前柱に連続した「菊唐草文」の飾り金具を打つ。(前柱の連続文様は翁山のみ) 舞台向大唐破風の「七宝桐鳳凰文」飾り金具は京都の村田長左衛門作。

「曳山や山組の名前を間違えてガイドしていた」の苦情がこないよう、お互いに気を付けましょう。

馬場 智章